

東京大学 グローバルCOE 冬季セミナー 《医療・介護従事者のための死生学》

The University of Tokyo GCOE Winter Seminar

Death and Life Studies for
Medical Professionals and Care Givers

所：東京大学本郷キャンパス・法文2号館1番大教室

日時：2009年1月31日(土)

主催：東京大学大学院人文社会系研究科・

グローバルCOE「死生学の展開と組織化」

講師・プログラム

事例検討（臨床死生学演習）

担当：清水哲郎 / 山崎浩司（東京大学 死生学）

講演（死生学トピック）

講師：秋山 弘子（東京大学 ジェロントロジー寄附研究部門教授）

演題：長寿を心から喜べる社会をめざして

シンポジウム 高齢者ケアの現場から（臨床死生学トピック）

シンポジスト：

佐藤 伸彦（市立砺波総合病院 地域医療部副部長・医師 老年病・臨床倫理）

演題：看取る、ということ

宮島 渡（社会福祉法人 恵仁福祉協会 高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ
常務理事・総合施設長）

演題：認知症グループホームにおけるターミナルケア
～K氏へのグループホームケアを通じて～

講演（死生学トピック）

講師：上野 千鶴子（東京大学 社会学教授）

演題：ケアされる側の論理：当事者主権の立場から

参加費無料・事前申し込み必要（下記URLから）応募締め切り 2009/1/19

参加資格：死生学に関心のある保健医療の専門職（医師・看護師・保健
師・社会福祉士/ソーシャルワーカー・臨床心理士など）今回は2008年1月の冬季セミナーないし
2008年7月の夏季セミナーに参加した方に限る

応募人数：50名（応募多数の場合は書類選考あり）

東京大学大学院人文社会系研究科グローバルCOE「死生学の展開と組織化」

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1/Tel・Fax 03-5841-3736

URL: <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/shiseigaku/>

問い合わせメールアドレス:dalsjp@gmail.com



Death
And
Life
Studies